



校長だより(職員編)

呉市立阿賀小学校
安宗 誠

結局行き着くところは、「楽しい授業」!

先日放課後、自身にとって特に気になる教科等の授業づくりについて、教職員同士、本音で語り合う時間を取りました。(今回は、国語、算数、体育、図工の4部会のどれかに参加)。呉市の重点、そのことを受けての本校の重点を踏まえる中で、悩みなど、本音が出し合え、実りある研修となりましたね。忙しい中でもこういう時間をできるだけ取ることがとても大切なことだと思います。

ちなみに、私がかつて教諭時代、翌日の授業の教材研究をする際には・・・、
まず前提として、翌日、子供達の前に元気はつらつとした姿で立たないといけませんよね。寝る時間を極端に削ってまで教材研究をしていては、そうはいきませんよね。前日の教材研究は神経を研ぎ澄まして短時間集中です(すこしおおげさですが・・・)。

その際に追究すべきことは、「**明日授業扱うところの本質は何なのか?**」ということ。国語なら、「読み取らせるべきところはここだ!」算数なら、「身近な生活のこれと関連させるぞ!」体育なら「この技を成功させるためのポイントはこれだ!」図工なら「子供がその素材を使って思いっきり表現できるようにするための働きかけはこれだ!」といったようなこと。

それをどんな授業の流れにすれば、「**子供達1人1人が楽しいと思える授業**」になるのか?
以上、私はこの2点にこだわり続けていました。うまくいくときもいかないときもありましたが・・・。時代は変わっても、追究すべきことは変わりませんね。



それぞれの部会に分かれて、先生たちは授業づくりについて熱心に本音で語り合っていました